

嶽の森山

[※ 実施日—2025年5月27日(火)]

(ハイライトシーン)

① (古座川町 一枚岩)



※弥生班 計6名



② (苔岩のある山道)



③ (ナメコ岩)



④ (嶽の森山、雄岳)



⑤ (嶽の森山、雌岳)



⑥ (豆腐岩)



嶽の森山

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ----- 2025 年 5 月 27 日(火)

(メンバー) ---計 6 名

山本、大野、中濱、八木、新延、有本、

※(行 程) [予定]

※[はじめに]

(嶽の森山)

○古座川町の一枚岩の対岸にそびえる絶景の
双耳峰。ナメトコ岩、巖の巨人・豆乳岩など
景観は見ごたえがあります。

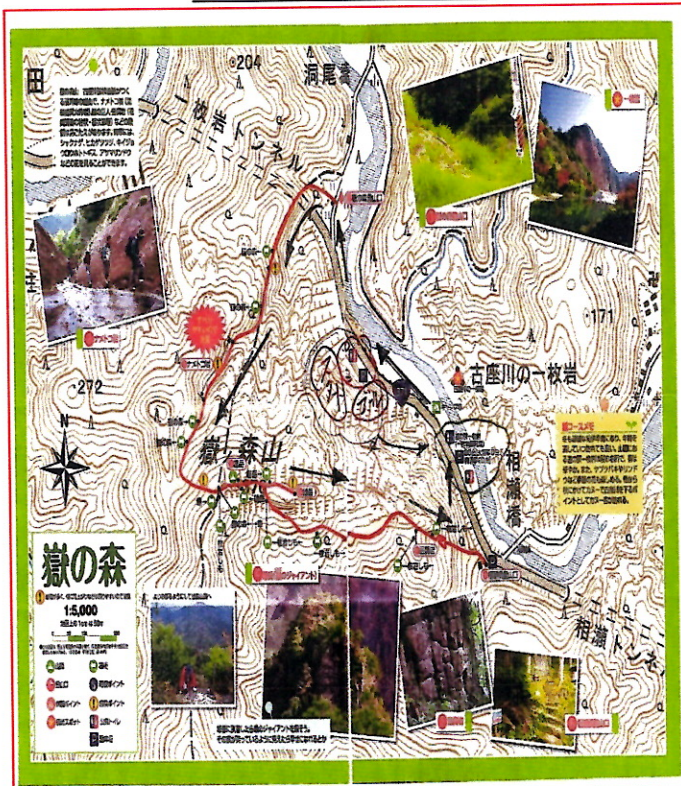
(写真 1)

(一枚岩)



・和歌山市冬野 7 時出発し、一枚岩駐車場に
9 時 15 分到着。まずは準備体操から---

(嶽の森山のロードマップ)



(写真 2)

(登山口)



・一枚岩の北側登山口から 9 時 2 0 分出発。

(写真 3)

(苔岩のある山道)



- ・ 苔岩がありうっそうとした山道が続く。
急登で無言で進む。
早くもメンバーの息が荒くなる。

(写真 6)

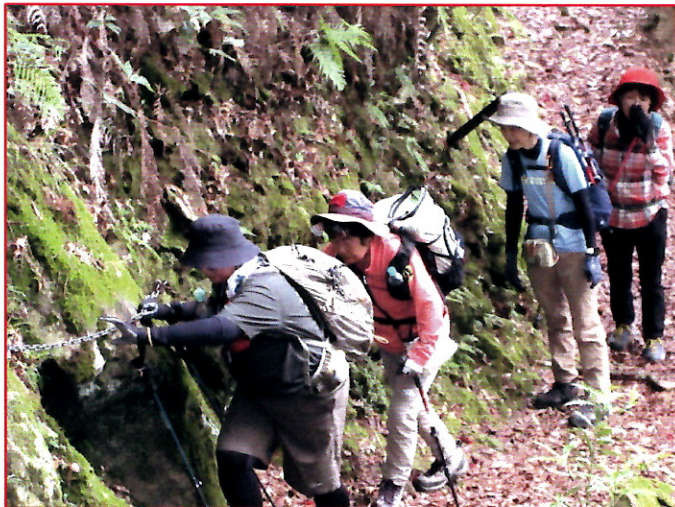
(ナメトコ岩-その 1)



- ・ ナメトコ岩の標識で---

(写真 4)

(鎖場)



- ・ 左側は谷。鎖を掴んで慎重に進む。

(写真 7)

(ナメトコ岩-その 2)



- ・ 急流で淵もよく滑ります。

(写真 5)

(沢の淵を登る)



(写真 8)

(岩登り)



- ・ 嶽の森山(雄岳)直下の岩登り。
もうすぐ頂上だ!

(写真 9)

(嶽の森山、雄岳)



・ 11時40分、登頂。

(写真 12)

(豆腐岩)



(写真 13)

(すさみ道の駅 望海のゆ)



・ 帰路で入浴。入浴後すさみの海岸で---。
・ 和歌山市冬野へ 18時40分帰着。

(写真 10)

(嶽の森山、雌岳-その 1)



・ 13時、登頂。
後ろは、雄岳。

(写真 11)

(嶽の森山、雌岳-その 2)



【最後に】

- 当日は午後から雨予報であったため、滑るナメトコ岩を心配しながらの山行開始となった。
- 登山道は標識やリボンで整備はされているが、出くわす登山者はなく、うっそうとした山道で不安感があった。
- ナメトコ岩を登る時は、雨は降っていないが予想したとおり、ぬかるみと滑る岩で幾度か滑って転んだメンバーがあったが、時間をかけて慎重な行動で、怪我無く登頂できた。
- 嶽の森山の雄岳、雌岳とも展望があり爽快感があった。
- 下山では周回コースの豆腐岩が幻想的な雰囲気であった。
- 帰路のすさみ道の駅望海のゆでゆっくりと入浴し、清々しい山行を満喫しました。